

変わりゆく音楽の楽しみ方

～コロナ以前から音楽配信はDXが進みストリーミングに移行～

新型コロナウイルス感染拡大の抑制をめざして行なわれた行動制限により、3密(密閉・密集・密接)の回避が難しいとされた娯楽は大幅に抑制されました。

日本レコード協会の調査*によると、2020年の国内における音楽への支出金額の平均値は、前年比約▲38%の5,842円と大きく落ち込みました。

*一般社団法人 日本レコード協会「音楽メディアユーザー実態調査」

とりわけ、コンサート、ライブなどの入場料、音楽関係グッズ・出版物、カラオケへの支出が減少しました。一方で、有料型配信ライブや定額制動画配信サービスへの支出が増えました。また、楽曲購入が減った理由では、「音楽配信サイトやアプリで満足できるようになった」が、「金銭的な余裕の減少」を上回り第1位となりました。

まさにコロナ禍での行動の変化を物語る結果となっており、DX(デジタル・トランスフォーメーション)が急速に進んだ流れから、新たなサービスが広まった印象を受けます。

【実は既に世界の潮流はストリーミング】

世界に目を向けると、音楽売上金額の推移(下図)は、2014年あたりを底に回復傾向を見せており、2020年も増加しました。

